

農林水産商工常任委員会資料

(令和7年10月6日)

項 目	ページ
■ 第13回北東アジア産業技術フォーラムの開催結果について 【産業未来創造課】……………	2
■ 「ハイブリッド型」(オンライン(EC販売)+リアル(展示会・店舗))海外販路 開拓の状況 【通商物流課】……………	3
■ 「鳥取」(清酒)の地理的表示(GI)指定について 【販路拡大・輸出促進課】……………	4

商 工 労 働 部

第13回北東アジア産業技術フォーラムの開催結果について

令和7年10月6日
産業未来創造課

北東アジア地域における産業技術分野の交流を促進するため、韓国江原特別自治道、中国吉林省、本県の行政関係者及び研究者が一堂に集まり、各地域の産業振興に関する施策と産業技術開発の研究成果等の発表を行う「第13回北東アジア産業技術フォーラム」が、韓国江原特別自治道において、下記のとおり開催されました。

1 北東アジア産業技術フォーラムについて

本フォーラムは、平成18年の北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットにおける先端科学技術交流に関する合意に基づき、平成20年に鳥取県商工労働部長、中国吉林省科学技術庁長、韓国江原道経済産業局長（現 先端産業局長）で締結した「産業技術交流協力協定書」により、3か国持ち回りで開催している。江原特別自治道での開催は、オンライン開催を含めて5回目となる。

2 第13回北東アジア産業技術フォーラムの概要

- (1) 開催日時 令和7年9月23日（火）14:00～18:00
- (2) 開催場所 春川KT&Gサンサンマダン（江原特別自治道春川市）
- (3) 参加者 約50名（鳥取県6名、吉林省6名、江原特別自治道内の行政・研究機関等）
- (4) 内容

【基調講演】各地域の産業・技術動向と施策等を紹介

（江原特別自治道、吉林省、鳥取県（足立産業未来創造課長））

【研究発表】テーマ：「バイオ・ヘルスケア分野を中心とした北東アジア地域の持続可能な未来産業協力」

＜江原特別自治道＞「天然物の全周期研究を通じた食品・医薬品素材の開発」他1件

＜吉林省＞「スペルミジン機能化移植体における免疫拒絶反応抑制技術の開発」他1件

＜鳥取県発表内容 2件＞

- ・「減塩およびフレイル予防による健康長寿社会の実現に向けた食品開発」
発表者 鳥取県産業技術センター食品加工研究所 食品加工グループ長 加藤愛氏
- ・「新しい内視鏡シミュレータで拓く医療技術教育、内視鏡医療の世界展開ストラテジー」
発表者 株式会社R0 代表取締役 藤井政至氏

(5) 開催結果

各地域の研究発表では、AIを利活用した取組みが特徴的であり、AIを利活用したヘルスケア産業等の研究開発の重要性について3地域で共有することが出来た。今後も先端技術に関する情報交換により産業技術開発に係る地域間連携・共同研究推進に向けた機運を一層醸成するとともに、3地域の産業技術の交流・連携のプラットフォームとして本フォーラムを継続していくことを確認した。



＜研究発表の様子＞



＜集合写真＞

3 次回開催予定

次回（第14回）は吉林省での開催を予定。

「ハイブリッド型」(オンライン(EC 販売) +リアル(展示会・店舗))海外販路開拓の状況

令和 7 年 1 0 月 6 日
通 商 物 流 課

オンライン(EC 販売)とリアル(展示会出展・店舗販売等)のプロモーションを組み合わせた「ハイブリッド型」で海外販路開拓を行うことにより、県内企業の外需獲得をサポートした。

1 **北欧：スウェーデン** 県内工芸品事業者とのコラボ商品展示・販売会の開催【8/23(土)・24(日)】

- ・欧州において、現地嗜好にマッチした県内インテリア・ライフ商品分野の需要獲得を進めるため、本年 2 月から県内工芸品事業者とスウェーデンアーティストとのマッチングやコラボ商品の製作を支援。
- ・本年 8 月、コラボ商品の完成に伴い、本県がスウェーデンの木工アーティスト兼デザイナー「エスピョーン・グリッブ氏」を招へい。県内工芸品事業者等関係者の参加の下、「コラボ商品完成記念展示・販売会」(8/23・24、湯梨浜町)を開催した。(※当日、コラボ商品「ロープ・スツール」17 脚を販売。)
- ・今後、引き続きコラボ商品の製作を進め、欧州はじめ世界に向けて本県工芸品事業者の魅力を PR するとともに、越境 EC での販売を通じて県内工芸品事業者の外需獲得を図っていく。

【コラボ商品の製作状況】

コラボ商品	県内工芸品事業者	スウェーデンアーティスト
ロープ・スツール(木材とロープによる組立式の椅子)	木の椅子 JUN[三朝町・家具]	エスピョーン・グリッブ氏 (木工アーティスト兼デザイナー)
因州和紙に鳥取砂丘等を印刷したオブジェ	(株)TSP[鳥取市・和紙印刷]	セバスチャン・コック氏 (写真・絵画アーティスト)
グラデーション和紙[製作中]	(株)中原商店[鳥取市・因州和紙]	平田 章悟氏 (布・紙アーティスト)

2 **北欧：フィンランド** 国際展示会「ハピターレ 2025」(於：ヘルシンキ)への出展【9/10(水)～14(日)】

- ・本年 9 月、欧州での県内インテリア・ライフ商品分野の需要獲得を進めるため、北欧地域最大級の国際展示会「ハピターレ 2025」(9/10～14)に出展し、県内 19 事業者 49 商品の PR を実施。
[商品例：張り子面(YANAGIYAREPRODUCT(鳥取市))、ガラス細工(ukiroosh.(鳥取市))、藍染(藍染工房ちずぶるー(智頭町))、和包丁(八島農具興業(株)(倉吉市))、陶器(大山焼久古窯(伯耆町))、大漁旗バッグ(株)松田染物店(米子市))等]
- ・本県ブースを訪問した現地バイヤー(欧州市場向けに越境 EC 事業を展開)から引合いがあり、その後、同社 EC サイトでの取扱いに向けて商談を継続中。

3 **中国：吉林省** 「北東アジア博覧会」(於：長春市)への出展と EC 販売【8/27(水)～31(日)】

- ・本県は、2005 年から「北東アジア博覧会」(現在は 2 年に 1 回開催)に連続で出展し、これまで吉林省現地において県内企業の商品 PR や販売、観光情報の提供等を実施している。
- ・今後、現地で引合いのあった商品について、バイヤーとの商談を継続して支援していくとともに、成約後は、吉林省内の店舗や EC を活用して販売していく。

【本年の「北東アジア博覧会」の実施概要】

- 時 期：令和 7 年 8 月 27 日(水)から 31 日(日)までの 5 日間
- 場 所：吉林省長春市「北東アジア国際博覧センター」(※今回の博覧会がこけら落とし)
- 参加企業：5 社 (①(株)澤井珈琲[境港市・珈琲]、②(株)稲田本店[米子市・日本酒]、③(株)寺子屋ウェーブ[境港市・菓子]、④(株)シャルビー[鳥取市・化粧品]、⑤(株)ノーチスラボ[鳥取市・ミネラル水])

4 **中国：四川省** 中国の越境 EC ライブ配信事業者が鳥取県内に拠点設置【9 月事業開始】

- ・昨年 9 月、四川省成都市政府が(一社)日中経済貿易協会[境港市]と連携して米子市でビジネスマッチングイベントを初開催したことを契機として企業間のビジネス交流がスタート。
- ・本年 4 月には、成都市政府関係者が大阪・関西万博の鳥取県エリアにも立ち寄るなど、同市とのビジネス交流を進めている。
- ・本年 6 月、成都市を拠点に欧州や東南アジア向けに、「TikTok」と連携した越境 EC ライブ配信事業を展開する「四川塑所企業管理有限公司」が、「ネクスター(株)」[代表取締役 張華(成都市出身。鳥取大学卒。(一社)日中経済貿易協会(境港市)理事長、川和(株)(リサイクル業)代表取締役も務める。)]に出資し、境港市内に新会社を設立した。同社は、今後、TikTok を活用したライブ配信や海外店舗による販売を通じて、県産品を中国、欧州や東南アジアに展開していく計画である。

「鳥取」(清酒)の地理的表示(GI)指定について

令和7年10月6日
販路拡大・輸出促進課

鳥取県の清酒が「酒税の保全及び酒類業組合等に関する法律」に基づき、「地理的表示(GI)」に指定されましたので報告します。なお、本県産品の登録、指定は「鳥取砂丘/ふくべ砂丘らっきょう」、「大山ブロッコリー」、「こおげ花御所柿」、「大栄西瓜」、「伯州美人」に続き、6件目となります。

○ 酒類の地理的表示(GI: Geographical Indication)制度

「酒税の保全及び酒類業組合等に関する法律」第86条の6に基づく「酒類の地理的表示に関する表示基準」により、国税庁長官が指定する制度で、平成7年に創設された。

酒類に関し、「正しい産地」であることと、「一定の基準」を満たして生産されたことを示すもので、指定されることにより、その産地名(地域ブランド)を独占的に名乗ることができる。(R7. 9時点、日本国内の酒類のGI登録産品は31産品。(酒類区分別:ぶどう酒5産品、清酒20産品、蒸留酒(焼酎・泡盛)5産品、その他の酒類(リキュール)1産品)

1 「鳥取」(清酒)の指定概要

- (1) 指定名称:鳥取(酒類区分:清酒)
- (2) 管理機関:鳥取県酒造協同組合
- (3) 告示日:令和7年10月1日(水)

2 PR等今後の取組

- (1) 鳥取県酒造協同組合等の取組(予定)
 - ・令和7年10月～11月 第1回認定酒審査会(GI認定商品の初回認定)
 - ・令和8年3月頃 スタートアップイベント(広島国税局主催)
- (2) 県の取組
 - ・令和7年10月25日(土) 爛椀グランプリ&フェス会場においてPRコーナー設置
 - ・令和7年11月以降 海外市場(欧州等)での鳥取(清酒)等PR

3 期待される効果

- ・他製品との差別化による付加価値向上と産地活性化
- ・模造品の流通防止と海外販路の拡大

【参考】

○鳥取(清酒)の特徴

農家との契約栽培等による地元産の酒米の使用が多く、口当たりの柔らかさをもたらす地元の軟水で醸されている。「純米酒」の生産割合が高く、「生酏づくり」等の伝統的技法による、米の旨味をしっかりと感じられる「爛」に向く酒が多い等、手仕事による伝統的かつ丁寧な酒造りが行われている。



○県内のGI登録(農産品)、指定(酒類)状況

- ・登録済(5件): 鳥取砂丘/ふくべ砂丘らっきょう(平成28年3月10日登録)
大山ブロッコリー、こおげ花御所柿(平成30年12月27日登録)
大栄西瓜(令和元年6月14日登録)
伯州美人(令和6年8月27日登録)
- ・今回指定(1件): 鳥取(清酒)